

# 大腸ポリープの多発心配

**Q** 70代の女性です。4年前に内視鏡で大腸のポリープを1個切除しました。「残り2個は3年後」と言われましたが、心配です。1度ポリープができることから次へとできるのでしょうか。

**A** 大腸ポリープとは、大腸にみられる隆起した病変（できもの）のことをいい、加齢に伴い増加します。そのうちの区別が容易にできるようなりまし

⑤

## 定期検査で悪化予防

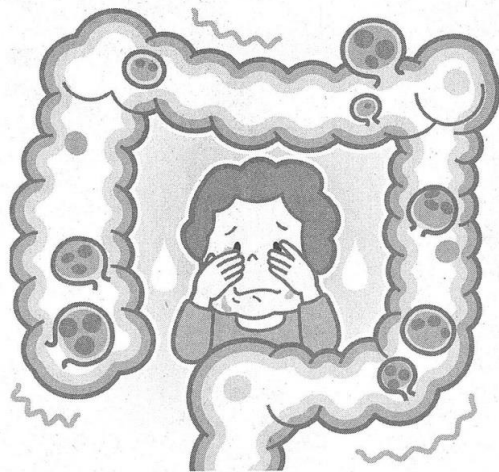


田邊裕貴 消化器内科部長

はなりません。最近の高画質の内視鏡では、それらの区別が容易にできるようなりました。5mm以上の腺腫性ポリープを内視鏡で切除することで、大腸がんを予防・早期治療できます。

大腸がんは年々増加傾向にあり、大腸がん死亡率はすでに死にすする患者さんの数は、この50年間でおよそ10倍になりました。その原因の一つは食事の欧米化といわれていますが、驚くべきことに日本の男性の大腸がん死亡率はすでに英国や米国を抜いています。

大腸内視鏡検査でポリープを切除したときには、1年後の内視鏡検査をお勧めしています。ポリープがみられないきれいな大腸の場合、2〜3年後の検査をお勧めしています。ちなみに、米国のガイドラインは10年後の検査を推奨しています。



イラスト/ 仲田育代

SHIMOTSUKE GRAPHICS

大腸ポリープが生じる原因のひとつは欧米化した食事と考えられます。特に、家族に大腸がんやポリープがみられた人や、大腸がんの治療を受けた人は多発することがありますので、定期的な検査を受けましょう。

大腸ポリープのできやすさは、患者さんの生活習慣によってそれぞれ異なります。自分の希望を担当医に伝えて十分な説明を聞いてから、検査に臨んでください。

（消化器内科部長 田邊裕貴）

（第2、4木曜日掲載）

life

くらし



健康の不安や疑問について、読者の皆さんの質問を募集します。症状や経過をなるべく詳しく、その人の年齢、性別も書いてください。投稿者の住所、名前（ペンネーム可）、年齢、

性別を記入し、〒320-8686 下野新聞社くらし文化部「健康 110番」係へ。住所不要。FAX (028・625・1185)、メール (platina@shimotsuke.co.jp) でも受け付けます。